

信号機の設置について

古閑森 秀幸 議員



西大村中学校正門前の横断歩道において立哨活動をされているボランティアの方から、交通事故等が発生する可能性があり、大変危険であるとの話があった。登下校時の児童生徒の安全確保のため、当該横断歩道に押しボタン式の信号機を設置することはできないか。

A

西大村中学校正門前への信号機の設置に当たっては、通行する児童生徒数や信号機設置による影響を総合的に判断する必要があるが、現状を確認すると、信号機を設置しなければならぬ状況ではないと考えている。

上下水道行政について

朝長 英美 議員



水道料金が8%値上げされたが、市民の理解は得られているのか。また、農業集落排水処理施設から出された汚泥の処理について、一般競争入札で行われているのか尋ねる。

A

水道料金の料金改定については、今年2月に市内8カ所で開催した水道事業の管路更新計画等の説明会において、十分に説明を行った。さらに、5月に開催された行政委員総会においても料金改定に至った経緯や理由、新料金の計算方法などの説明を行った。また、農業集落排水施設から出された汚泥の処理については、随意契約で実施している。



福祉・医療・保健

介護保険料の減免制度の周知について

宮田 真美 議員



介護保険料には、保険料を納付することで所得が生活保護基準を下回る場合、サービス料や保険料に対する独自の減免制度がある。保険料の納付が困難になり、相談に訪れた市民がこの制度の対象者であった場合、制度を活用できることの積極的な周知がなされているのか。生活の立て直しと新たな滞納を生まないという観点での対応を求める。

A

介護保険料の減免制度の周知については、市のホームページで行っているが、制度に該当する方に対して、直接働きかけができていないのが現状である。今後は、介護保険料決定通知書の発送時にも、周知するよう努めたい。

軽度発達障害児の就学支援について

宮田 真美 議員



軽度発達障害の子どもたちが小学校に入学する際、普段の様子や必要な支援等の情報を学校に伝えるために、「のびのびファイル」のさらなる活用を求める。小学校以降の子どもたちの学びの支えになっているということへの理解を広げ、積極的な活用を保護者に呼びかけてほしいがどうか。

A

「のびのびファイル」については、今後も赤ちゃん訪問時や各種健診時に趣旨説明を徹底するとともに、保育園や教育委員会等と連携し、ファイルの活用にも今後努めたい。また、教育委員会が作成している独自のシートについても活用できていなかったため、未就学児のときから活用し、カルテという考えで連携できない

か調整している。また、教育委員会としては、発達障害も含めた特別な教育的支援が必要な子どもとの情報共有や、支援のあり方について協議、検討していく。

認知症総合センターの現況、今後の課題と対策

三浦 正司 議員



認知症総合相談センターにおける相談件数・内容・課題、高齢者の交通事故、徘徊対策、人材育成、認知症ドライバーの実態、高齢者の運転免許証の返納について、これまでの実態を踏まえ、平成27年12月以降の現況と、今後の課題及び対策について尋ねる。

A

平成27年度の相談件数については138人、延べ267件、内容については、金銭管理など多様な相談があつている。また、高齢者の運転中の交通事故については、平成27年には100件発生しているが、認知症が原因なのかの把握はできていない。また、高齢者の運転免許証の自主返納については152件となっている。今後の課題については、認知症のことを正しく理解していただき、偏見を持たずに、認知症患者やそ

